

株式会社柴橋商会の事業適応計画のポイント

令和5年5月10日

- ・気候変動が深刻な社会問題となる中で、企業が温室効果ガスの削減に取り組むことは、CSRとして重要ということだけではなく、脱炭素社会に向けたメガトレンドの中で生き残る上でも重要である。
- ・同社は本計画において、脱炭素の潮流に乗り気候変動への対応を行うと共に、自社の省人化と生産性向上を目指す。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施時期

2023年3月～2025年9月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を34.8%向上させることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

高効率型のリネン設備への更新及び排熱利用設備の導入等を行うことによって、エネルギー起源二酸化炭素排出量を抑制し、炭素生産性の向上させる。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<取組の内容のイメージ>

(導入する設備の一例)

